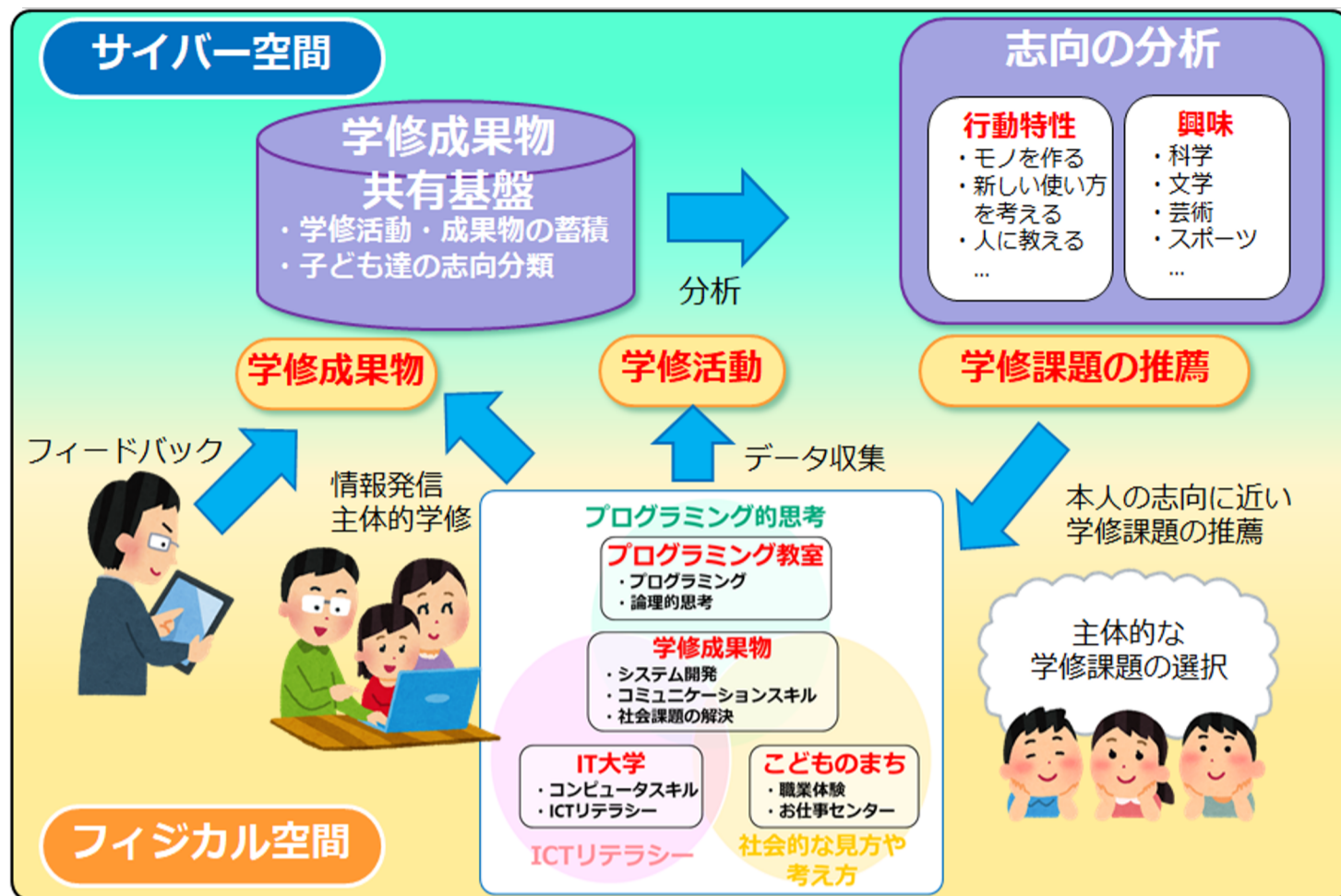


子どもの主体性を向上させる学修成果物共有基盤

地域・教育システムプロジェクト



学修成果物共有基盤概要

- 目的
 - 子ども達の志向を分析し、それぞれに応じた学修課題を提示
 - 主体的な課題選択を行う能力の成長につなげる
- 方法
 - 学修活動を記録して振り返りの機会を設け、活動の達成度と満足度を記録、収集
 - アウトプット(成果物の共有)とインプット(学修活動、振り返り)の繰り返し
- 対象
 - 地域活動等を行った子どもや保護者
- システムの機能
 - ユーザー管理
 - 記事情報の記録、編集
 - 画像、動画のアップロード
 - 画像、動画の表示や再生
 - 記事
 - の検索機能
 - 記事、コメントに対するコメント、いいね
 - アカウントのフォロー
- システム化の意義
 - 人間では全員を長期的に確認することは難しい
 - 即時にフィードバックが可能
 - 人間には不可能なデータ解析が可能
- ページのイメージ

子ども向け学修支援システムとは

- 子ども達の主体的な学修課題の選択を促す学修支援システム
- 地域活動を通じた子ども達の学修活動データの収集
- AIを活用し学修活動データから子ども達の志向（行動特性や興味など）を分析
- 志向の分析結果と子ども達に適した学修課題のフィードバック
- 子ども達自身が学修成果物を公開・共有し、一般からのフィードバックが得られる学修成果物共有基盤の実現が当面の最終ゴール

学修課題選択に必要な3要素

- プログラミング的思考
 - 自らが意図したものを実現するために、要素に分解して論理的に組み上げる思考力
- ICTリテラシー
 - コンピュータの扱いとともに他者との協調作業やオンラインでの情報収集/情報発信に必要
- 社会的見方や考え方
 - 社会の仕組みや経済活動の流れを知る

システム制作に用いるサービスやフレームワーク

- AWS
 - Amazon社が運営するが運営するクラウドコンピューティングサービス
 - ストレージ、API、サービスの公開、ユーザ管理、セキュリティ等システムの基礎部分で利用
 - クラウド=インターネット上で運用されているサーバーを利用するシステム
- Vue.js
 - ユーザーインターフェイスを構築するための、オープンソースのJavaScriptフレームワーク
 - フレームワーク=アプリケーションを開発するとき、その土台として機能させるソフトウェア

記事ページ



記事投稿ページ



今後について

- 今後の課題
- 学修成果物共有基盤のプロトタイプ完成
- 学習コンテンツの充実&成果物のブラッシュアップ
- システムの評価

Web資料QRコード

